

資料展示 ぐんまと養蚕－絹の再発見

期間：平成20年7月17日(木)～平成20年9月30日(火)

会場：群馬県立図書館 3階展示コーナー

群馬県立図書館では、県内の郷土資料の重点的な収集・保存・利用提供に努めており、資料展示として、年4回テーマを替えて、特色ある資料を幅広く紹介しています。

上毛カルタで「繭と生糸は日本一」と言われるように、近代においてめざましい発展を遂げた養蚕業は、群馬県の産業や文化に深く関わってきました。また、明治に日本の近代化の礎となった富岡製糸場では、現在世界遺産推進への取り組みが行われています。この資料展示では、養蚕業の発展が日本の近代化に貢献した幕末から昭和初期の群馬の養蚕に関する資料や富岡製糸場に関する資料を中心に紹介します。

【展示資料について】

本展示は、群馬県の養蚕に関するの図書資料等の一端を紹介するもので、全ての資料等を網羅的に紹介するものではありません。ここに示した118点の資料は、所蔵資料の一部です。

展示資料のうち、「+」記号の付いたものは一冊のみ所蔵、雑誌資料、資料の形状等の理由により貸出できない郷土資料です。郷土資料は通常は2階調査相談室の郷土資料コーナーにあり、いつでも閲覧できます。複本がある場合には、展示期間中でも貸出が可能です。

「*」記号の付いたものは、小野寺文庫（養蚕関係コレクション）資料です。

なお、展示されていない所蔵資料のことや展示資料の貸出等のご相談は、2階調査相談室で受け付けておりますので、お申し付けください。

○養蚕に関する資料(小野寺文庫を中心に)

今から千二百年以上前の奈良時代初期、上野国から朝廷に「あしぎぬ(上絹ではない太絹)」が貢納され、今でも正倉院の御物として保存されています。中世に入り、桐生地区を産地とした仁田山絹、西上州の日野絹は、群馬県の特産品となり、古くから繭・生糸・絹織物の産地としての地位を築いてきました。県内の多くの畑地がかつて桑園でした。江戸時代、桐生織物の発展もあって、上野国内の農民にとって、養蚕は貴重な現金収入であり、蚕糸業は地域経済や文化の形成に大きな役割を果たしてきました。

現在のように飼育技術が進歩する以前は、天候などによりマユの収量が大きく左右されました。人々は飼育の工夫や道具の改良を試みる一方で、豊蚕を神に祈りました。

- *1 養蚕新論 乾(巻之1～巻之2) 田島邦寧/著 出雲寺万次郎 1872
- *2 養蚕新論 続巻之3 田島弥平/著 出雲寺万次郎 1879
- *3 蚕桑余事 田島定邦/編 出雲寺万次郎 1875
- *4 蚕養育手鑑 馬場代造/著 高橋鹿造 1896
- *5 養蚕須知 巻上～巻下 吉田芝溪/遺著 後藤善十郎/編輯 渋川町養蚕実行組合 1933
- *6 養蚕秘録 扶桑国第一産 上巻 上垣伊兵衛守国/作 須原屋平左衛門 1803
- +7 蚕業秘術 訂正4版 町田菊次郎/講話 村川俊雄/筆記 1895
- *8 栽桑活法 小谷光貞・本橋保次郎/合著 人長館貞次郎 1892
- *9 桑鑑 群馬県立農事試験場/編 群馬県立農事試験場 1910
- *10 春蚕日誌 明治24年 新町養蚕伝習所 1891
- *11 精繭社々則 精繭社/編 出版者不明 1890年代
- +12 群馬県蚕糸業組合規約 群馬県蚕糸業組合/編 群馬県蚕糸業組合取締所 1891
- *13 養蚕改良講話 土屋泰・小林峰太郎/述 碓氷社 1915
- *14 高山社蚕児飼育法 増訂 高橋清七/著 有隣堂 1905

- +15 蚕病予防事務成績報告書 明治42年度 群馬県内務部／編 群馬県内務部 1910
- *16 群馬の座繰製糸指針 高橋清七／著 有隣堂書店 1909
- +17 群馬県蚕業家名鑑 大久保茂太郎／編 商業新報社 1910
- *18 蚕桑 群馬県蚕業試験場／編 群馬県蚕業試験場同窓会 1927
- +19 昭和9年製糸教範 碓氷社／編 碓氷社 1934
- +20 群馬県蚕業試験場報告 第18号 群馬県蚕業試験場／編 群馬県蚕業試験場 1933
- +21 繭検定二関スル関係法規 群馬県蚕糸業協会 1940
- +22 飼育法に対する注意と標準表 昭和9年4月 群馬県蚕業試験場／編 群馬県蚕業試験場 1934
- +23 蚕糸類品評会記念誌 群馬県蚕業試験場同窓会 1927
- *24 蚕糸公論 第3巻12月号第13号 蚕糸公論社／編 蚕糸公論社
- 25 蚕糸業のあゆみ 上州から群馬県へ 群馬県蚕糸業協会／編 群馬県蚕糸業協会 1952
- *26 上毛篤農伝 第1集 群馬県経済部農産課／編 群馬県 1951
- +27 蚕人伝 上巻 丸山義二／著 全国養蚕農業協同組合連合会 1972
- 28 20年の足跡 群馬県蚕糸振興事業協会／編 群馬県蚕糸振興事業協会 1980
- 29 繭検定50年のあゆみ 繭検定50年のあゆみ編集委員会／編 繭検定50年のあゆみ刊行会 1988
- 30 群馬の蚕糸業 平成13年度 群馬県／編 群馬県農政部蚕糸課
- 31 群馬の養蚕 近藤義雄／編 みやま文庫 1983
- 32 群馬県の養蚕習俗 群馬県教育委員会／編 群馬県教育委員会 1972
- 33 第29回企画展 カイコのいる暮らし 群馬の養蚕
群馬県立歴史博物館／編 群馬県立歴史博物館 1988
- +34 上州路 月刊郷土文化誌 第6巻4月号通巻59号 特集：近代群馬蚕糸業の黎明 あさを社 1999
- 35 新島学園女子短期大学紀要第16号 新島学園女子短期大学／編 新島学園女子短期大学 1998
- +36 群馬の養蚕に関する基礎資料 板橋春夫・飯島康夫／著 群馬県立歴史博物館 1988
- 37 上州前橋の蚕業回顧 笹沢周作／著 笹沢周作 1990
- *38 蚕民騒擾録 明治十七年群馬事件 福田薫／著 青雲書房 1974
- 39 絹の再発見 読売新聞社前橋支局／編 煥乎堂 1969
- 40 繭の記憶 上毛新聞社 2008
- 41 第2回企画展 蚕種～近代化をささえた技術の発展～
群馬県立日本絹の里／編 群馬県立日本絹の里 1999
- 42 第14回企画展 文学の中のシルク 文学でシルクを旅する
群馬県立日本絹の里／編 群馬県立日本絹の里 2007
- +43 修羅の川 関口英沙恵／著 光文社 2003
- 44 蚕の神さまになった猫 開館十周年記念企画展 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館／編 2006
- 45 養蠶（かいこ）の神々 蚕神信仰の民俗 阪本英一／著 群馬県文化事業振興会 2008
- 46 「お蚕さま」の四季 群馬県養蚕農家の暮らし 大浦佳代／写真・文 群馬県立日本絹の里 1998
- 47 上州の暮らしとまつり 須藤功／写真 都丸十九一／文 煥乎堂 1977
- 48 写真でつづる上州の民俗 都丸十九一／写真・文 未来社 1999

※県内各地の絹産業遺産に関する資料

- 49 本朝巨木伝 日本人と「大きな木」のものがたり 牧野和春／著 工作舎 1990
- +50 季刊ぐんま No.91 特集：『ぐんま』の養蚕1 群馬県教育振興会／編 群馬県教育振興会 2007
- +51 上州路 第32巻12月号通巻379号 あさを社 2005
- +52 季刊ぐんま No.93 特集：『ぐんま』の製糸 群馬県教育振興会／編 群馬県教育振興会 2007
- +53 月刊文化財 2006.7 通巻514号 文化庁文化財部／監修 第一法規出版
- 54 六合村・赤岩基礎調査報告書 赤岩ふれあいの里委員会・協同組合群馬建築修復活用センター／編 赤岩ふれあいの里委員会 2002

○蚕糸業と絹産業に関する資料

幕末期に群馬の製糸業の発達は、桐生・伊勢崎など東毛地域を中心に、安政6年(1859年)の横浜開港によって一層進行しました。横浜開港後、蚕種(蚕の卵)と生糸は日本の重要な輸出品となりました。明治維新後の道路事情は劣悪で、明治元年に中山道を前橋の生糸商人が私費で改修しています。当時の荷車では前橋・横浜間で3日間かかり、鉄道の開通が待たれていました。

明治5年に新橋－横浜間の我が国最初の鉄道が開通し、明治17年には上野－高崎間に高崎線が開通、両毛地区の生糸を横浜港から世界へと輸出しました。その後、両毛線、八高線、信越線、上信電鉄と全国に先駆けて整備された鉄道網は、繭・生糸・絹織物を運び、群馬県の近代化に寄与しました。

- 55 近代群馬の蚕糸業 産業と生活からの照射 高崎経済大学附属産業研究所／編 日本経済評論社 1999
- 56 第7回企画展 明治初期の日伊蚕糸交流とイタリアの絹衣裳展
群馬県立日本絹の里／編 群馬県立日本絹の里 2001
- 57 境町史資料集第4集(歴史編) 島村蚕種業者の洋行日記 境町史編さん委員会／編 境町 1988
- *58 群馬県蚕糸業史 上・下巻 群馬県蚕糸業史編纂委員会／編 1955(上巻) 1954(下巻)
- *59 蚕種論 外山亀太郎／著 丸山舎書籍部 1909
- *60 通俗外国蚕及掛合種飼育法 石渡繁胤／述 大日本蚕糸会 1914
- +61 交水社沿革 交水社 1910
- +62 甘楽社事績梗概 群馬県北甘楽郡富岡町有限責任信用販売組合連合会／著 1925
- +63 碓氷社々報(碓氷社報) 第16号 碓氷社 1912
- +64 碓氷社要覧 萩原鏡太郎／著 碓氷社 1910
- 65 碓氷社五十年史 宮口二郎／著 碓氷社 1927
- 66 目で見る高崎・安中の100年 石原征明／監修 郷土出版社 2006
- 67 第4回企画展 製糸～近代化の礎～ 群馬県立日本絹の里／編 群馬県立日本絹の里 2000
- *68 人工孵化蚕種学 三浦英太郎／著 中島書院 1925
- *69 黄丸三竜又と其飼育法 田口百三／著 大日本蚕糸会 1915
- *70 原富太郎 森本宋／著 時事通信社 1964 (住谷文庫にもあり)
- 71 横浜商人とその時代 横浜開港資料館／編 有隣堂 1994
- 72 吉村屋幸兵衛関係書簡 復刻版 横浜開港資料館／編 横浜開港資料館 1989
- *73 生糸繭蚕種審査法 訂正増補版 高橋信貞／講述 明文堂 1897
- 74 20世紀初頭の横浜 横浜開港資料館／編集 横浜開港資料普及協会 1997
- 75 資料が語る横浜の百年 幕末から昭和初期まで 横浜開港資料館／編集 横浜開港資料普及協会／編集 1991
- 76 図説【横浜の歴史】 横浜市市政一〇〇周年開港一三〇周年「図説・横浜の歴史」編集委員会／編集 1989
- 77 波乱の半世紀 横浜市の誕生から戦後復興まで 横浜開港資料館／編集 横浜開港資料館 1990

○富岡製糸場に関する資料

富岡製糸場は明治5年(1872)、明治政府が群馬県富岡市に設置した製糸場です。当時の日本は明治維新後急速に近代化を進めていた時期であり、その資金を稼いだのが最大の輸出品、生糸でした。明治3年、ポール・ブリューナが関東近郊を調査し、上州富岡に適地を見いだしました。

工場建設は明治4年から始まり、翌年10月には歴史的な操業が開始されました。繭を生糸にする繰糸工場には300釜の繰糸器が置かれ、約400人の工女達の手によって本格的な器械製糸が始まりました。しかし経営は恒常的な赤字であり、その一因であったお雇い外国人は明治9年に解雇され、日本人による操業が始まりましたが、規模過大から来る赤字体質は改善されませんでした。このため払い下げ対象となり、明治26年(1893)に三井家に譲渡されました。その後明治35年(1902)には原合名会社に譲渡され、御法川式繰糸機による高品質生糸の生産や、蚕種の統一などで注目されました。昭和14年には日本最大の製糸会社であった片倉製糸紡績会社に譲渡されました。その後、戦中・後と長く製糸工場として活躍しましたが、昭和62年3月ついにその繰糸を停止し、その後も大切に保存されています。

- 78 精解富岡日記 富岡入場略記 和田英／著 今井幹夫／編 群馬県文化事業振興会 1999

- 79 定本富岡日記 和田英／著 上条宏之／校訂・解題 創樹社 1976
- 80 富岡製糸場誌 上 富岡製糸場誌編さん委員会／編 富岡市教育委員会 1977
- 81 上毛及上毛人 上毛郷土史研究会（大正10年刊の復刻本）豊国義孝／編 上毛新聞社 1976
- 82 富岡製糸場初期経営の諸相 七視点からのアプローチ 今井幹夫／著 今井幹夫 1996
- +83 製糸工女と富国強兵の時代 生糸がささえた日本資本主義 玉川寛治／著 新日本出版社 2002
- +84 講座・日本技術の社会史 別巻2 永原慶二／〔ほか〕編 日本評論社 1986
- +85 エドモン・バステアン 富岡製糸場を設計した建築技師 富田仁・西堀昭／著 群馬県立図書館（自館複製）1985
- 86 官営富岡製糸所工女史料 たかせとよじ／著 たいまつ社 1979
- 87 在来技術改良の支えた近代化 富岡製糸場のパラドックスを超えて 松浦利隆／著 岩田書院 2006
- *88 赤煉瓦物語 斎田朋雄／著 赤煉瓦物語をつくる会／編 あさを社 1986
- 89 富岡日記・機械系繰り事始め 萩原進・近藤義雄／編 みやま文庫 1985
- 90 富岡製糸場の歴史と文化 今井幹夫／著 みやま文庫 2006
- 91 かわたれの槌音 維新の産業革命と富岡製糸場 田村貞男／著 あさを社 1997
- 92 富岡製糸場 写真集 吉田敬子／撮影 片倉工業 2007
- *93 富岡製糸所史 藤本実也／著 片倉製糸紡績 1943
- 94 日本近代産業発祥100年祭 富岡市／編 富岡市 1972
- 95 日本のシルクロード 富岡製糸場と絹産業遺産群 佐滝剛弘／著 中央公論新社 2007
- 96 明治の日本 宮内庁書陵部所蔵写真 武部敏夫・中村一紀／編 吉川弘文館 2000
- 97 現代日本産業発達史 11 現代日本産業発達史研究会 1964
- +98 世界から見た富岡製糸場 日仏産業遺産シンポジウム 上毛新聞社出版局／制作 群馬県 2006
- 99 第8回企画展 皇居のご養蚕展 群馬県立日本絹の里／編 群馬県立日本絹の里 2002
- 100 旧富岡製糸場建造物群調査報告書 文化財建造物保存技術協会／著 富岡市教育委員会 2006
- 101 第57回企画展 ふたつの製糸工場 富岡製糸場と碓氷社
群馬県立歴史博物館／編 群馬県立歴史博物館 1997
- +102 富岡製糸場世界遺産講演会記録集 富岡市教育委員会／編 富岡市 2006
- 103 世界へはばたけ!富岡製糸場 まゆみとココのふしぎな旅
富岡製糸場世界遺産伝道師協会／編集 上毛新聞社出版局 2006
- 104 富岡製糸場へようこそ。 富岡市／編集 富岡市 2007

○錦絵・写真・その他

- *105 記念写真帖 昭和5年 福島県蚕業試験場小野新町支場 1930
- *106 記念写真帖 第15回卒業 福島県蚕業試験場小野新町支場 1937
- +107 日本産業文化変遷史 上毛新聞社／編 上毛新聞社 1955
- 108 思い出のアルバム 安中・碓氷 上巻 小板橋良平／監修 あかぎ出版 1989
- 109 明治の日本《横浜写真》の世界 横浜開港資料館／編 有隣堂 1990
- 110 群馬の生糸 気品あふれる美しさ 群馬県農業局蚕糸園芸課 2005
- 111 ぐんまのシルクロード 日本絹の里／編 日本絹の里 2001
- *112 桑葉（桑苗）見本 中島桑
- *113 官営富岡製糸場図（錦絵） 一曜斉国揮
- *114 養蚕之図（錦絵） 有山定次郎
- *115 蚕種注文帳 [書写資料] 高野喜七／著 高野喜七 1884
- *116 絵本宝能縷 勝川春章／画 北尾重政／画
（かいこやしない草第1～第12を収録） 1780年代
- *117 商票（俗にチョップ） 4枚
- *118 生絲証票 日本蚕絲統制株式会社

編集・発行 群馬県立図書館（前橋市日吉町1-9-1）
電話 027-231-3008